

第3章 基本理念と基本目標

1 基本理念

『みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり』

私たちはこの北九州市を、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。

そのためには、個人の生きがいや価値観を尊重しながら、身近な地域の中で人と人のふれあいを深め、日常生活の様々な場面で、あたり前のこととしてお互いの支え合いが行われていくことが大切だと考えています。

また、地域住民や公私の福祉関係者、保健・医療、教育、労働などの関係機関・団体がともに力を合わせ、私たちの日常を支えるものであってほしいと思います。

そこで、私たちが取り組むこれからのまちづくりを「住民主体」・「地域共生社会とSDGsの実現」の考え方を基礎として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」という言葉で表し、この計画の基本理念にします。

2 基本目標

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めるため、3つの基本目標を定めました。

基本目標Ⅰ みんなが参加できる地域づくり
～多様な地域福祉の担い手を育もう～

基本目標Ⅱ 誰も取り残さない地域づくり
～一人ひとりの暮らしを支えよう～

基本目標Ⅲ オール北九州で取り組む地域づくり
～課題解決に向けた体制・ネットワークをつくろう～

3 取組みの基本方針

基本目標 Ⅰ

みんなが参加できる地域づくり ～多様な地域福祉の担い手を育もう～

- 福祉は特別な人のものでなく、全ての住民の暮らしに関わっていることを示します。
- 自分の興味・関心から関わることで人が育ち、地域福祉活動への参加機会が増えていく、という流れを循環させていきます。
- 誰もが安心して一歩を踏み出せるよう、参加しやすい環境づくりを進めます。
- 一人ひとりが「支え手」であり「支えられる側」にもなれる地域を目指します。

これらに基づく活動を通じ、

「福祉を自分ごととして考え、誰もが役割を持ち、
参加できる地域共生社会の実現」を目指します。

基本目標 Ⅱ

誰も取り残さない地域づくり ～一人ひとりの暮らしを支えよう～

- 困る前からつながっておく、困ったときに「助けて」と言える関係性を築きます。
- 身近な地域で気づき（見守り）、解決に向けた話し合いや助け合いを通じ、住民同士が寄り添い、気にかけて合う地域を育みます。
- 誰もが必要なときに支援を受けられ、また地域の一員として自立と尊厳が尊重される体制を整えます。
- 平時・災害時ともにつながりによる安心が感じられる地域をつくります。

これらに基づく活動を通じ、

「困りごとを抱える人を地域全体で見守り、
平時もいざという時も安心して暮らせるしくみ」を目指します。

基本目標 Ⅲ

オール北九州で取り組む地域づくり ～課題解決に向けた体制・ネットワークをつくろう～

- 地域住民、関係機関・団体、企業、行政など、福祉にとどまらない多様な主体がチームとなり、それをつなぐハブとして社協が機能します。
- ネットワーク構築や基盤強化を通じて、点の活動を線や面につないでいきます。
- 持続可能な地域づくりのために専門性の向上や未来にむけた協議を行います。

これらに基づく活動を通じ、

「地域の力と専門職の知を結集し、
北九州全体で持続可能な福祉のまち」を目指します。

北九州市地域福祉活動第7次計画体系図

基本理念

みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり

基本目標

I

みんなが参加
できる地域づくり

～多様な地域福祉の
担い手を育もう～

II

誰も取り残さない
地域づくり

～一人ひとりの
暮らしを支えよう～

III

オール北九州で
取り組む地域づくり

～課題解決に向けた体制・
ネットワークをつくろう～

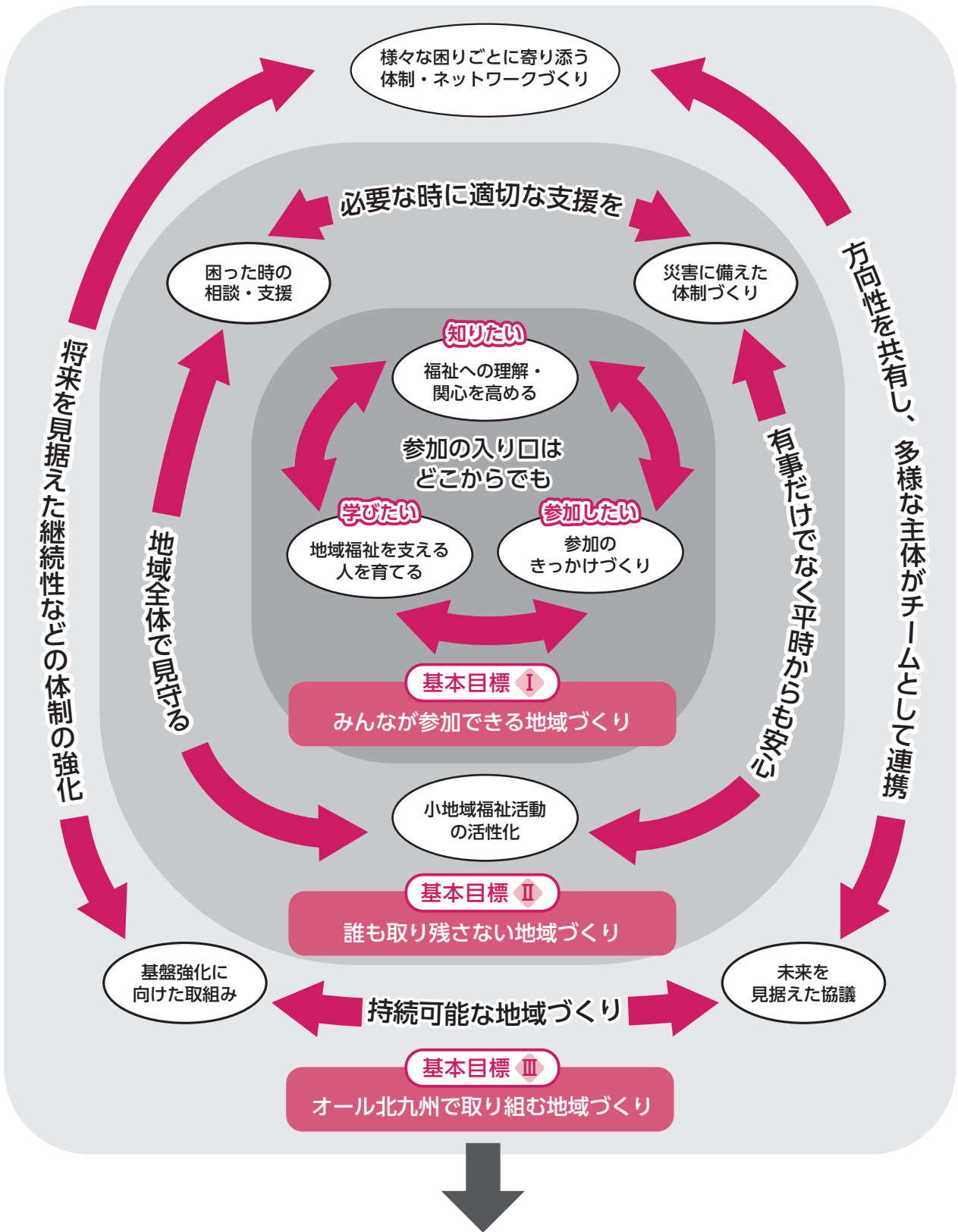
基本項目

- 1 福祉への理解・関心を高める
(広報・啓発)
- 2 地域福祉を支える人を育てる
(人材確保・育成・定着)
- 3 参加のきっかけづくり
(社会参加・つながりづくり)

- 1 小地域福祉活動の活性化
(身近な地域づくり)
- 2 困った時の相談・支援
(個別支援)
- 3 災害に備えた体制づくり
(防災・減災の取組み)

- 1 様々な困りごとに寄り添う体制・
ネットワークづくり(多機関協働)
- 2 基盤強化に向けた取組み
(財源確保・各組織の拡充)
- 3 未来を見据えた協議
(調査・研究・提言)

4 体系図の関連イメージ



基本理念

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」
「地域共生社会」と「SDGs」の実現へ